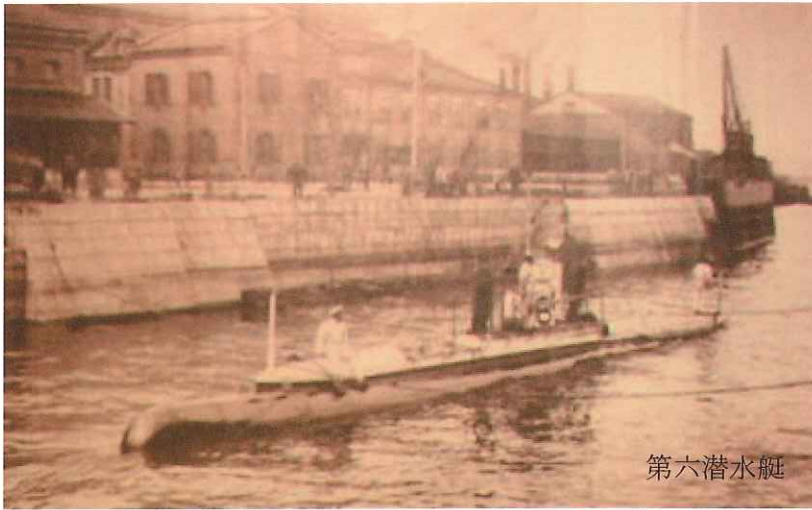


# 育鵬社教科書採択問題

教育の中立・公平性を考える



第六潜水艇

■1910年（明治43年）日本海軍の第六潜水艇が事故により沈没。以来「訓練中に乗組員全員が持ち場を離れず、死を迎えた使命感は人々に感銘を与えた・・・」として、修身教科書に掲載され、今もなお毎年追悼式が行われ、呉市内のある学校がこの追悼式に参加しています。■しかし、当時の海軍による調査報告書には「佐久間艇長の訓令に違反する訓練の強行実施と潜航深度の誤った指示」が原因と指摘してあり、その事実を把握していながらも国民には知らせず、国民の戦意を高揚させ、海軍の責任追及を避けるために創作した美談を意図的に流したのです。

**12月8日（日）**

**13時30分～16時30分**

**ビューポート呉**

呉市中通1丁目1-2 TEL:0823-20-0660

- ◆講演 **「知っていますか？第6潜水艇事故の真相」**
- ◆講師 林薫子さん（教科書問題を考える市民ネットワーク・ひろしま）
- ◆市民意見交流
- ◆資料代 ￥1000
- ◆主催 **教科書採択問題広島県民ネットワーク**  
尾道の教科書を考える市民の会  
教科書問題を考える市民ネットワーク・ひろしま  
教科書を考える呉の会～未来への架け橋
- ◆連絡先 柴田もゆる  
(廿日市市平良山手7-16 TEL:0829-31-0876)